

内金
道信
北8
M&Aマッチング支援
エントリーシステム稼働

【札幌】北海道内の8信用金庫（北空知、北星、帯広、釧路、大地みらい、北見、網走、遠軽）は、地域企業のM&A（合併・買収）マッチング支援を2016年度下期から本格稼働する。管内の企業同士を結びつけることで「地域の売り上げを守る狙い」。

8信金は、北海道事業承継センター（HBS C、吉川孝代表）を中心とした事業承継の支援ネットワークを4月に設立。地域企業の事業承継に関する個別相談を進めてきた。今回、M&A支援のエントリー申請書をHBS Cが作成。売り手企業は売却情報予備登



連携信金の本部支援担当者が集まったM&A勉強会・実務者会議（9月9日、札幌市内の会議室）

録制度「WISHエントリー」申請書に、買手候補企業は事前審査とアドバイザリー契約

や秘密保持契約を結び、HBS Cと連携信金が協力してM&Aを支援する。

査登録制度「S・MAP（戦略的M&Aパートナーシップ）エントリー」申請書に事業内容などを記入する。申請には連携するWISHエントリー20件、S・MAPエントリー90件の登録を目指す（小川孝二副代表）として

連携信金は、HBS Cが企業価値診断やアドバイザリー契約業務で得た報酬の一部を手数料として受け取る。HBS Cは8月末までに95件の個別相談を扱った。「16年度内にWISHエントリー20件、S・MAPエン